

大手前通り景観設計

説明資料

平成 20 年 10 月



島根県松江県土整備事務所

「大手前通りみちづくり委員会 提言書」の提言内容とその対応状況について

本資料は、平成 19 年 2 月に大手前通りみちづくり委員会より提出された「よりよい大手前通りのみちづくりに関する提言書」を受けて、大手前通りの景観検討を行ったものである。

1 提言内容

大手前通りみちづくり委員会により提出された提言書の提言内容を以下に示す。

提言要旨

大手前通りが、より安全で・誰もが使いやすく・憩いと賑わいがあり、全国に誇れる有名な通りとなるよう、以下の5つを提言します。

◆提言1 「四季を感じられ松江との縁がある街路樹を」

- 全国に類のない個性ある通りにするために、松江城二ノ丸に植えてある木から採種育成した「なんじゃもんじゃ」を植えることを提言します。

◆提言2 「城下町松江の歴史・文化を感じられるみちを」

- 沿道からは家屋の基礎や石組み水路として使われている来待石、大海崎石、島石が数多く出土しています。これらの石を有効活用することを提言します。
 - ①花壇やベンチなどみちの素材として活用
 - ②石組み水路の一部を保存・移設
 - ③松江城石垣修復工事へ活用
- 調査された沿道の歴史を紹介する案内看板を設置することを提言します。
- 沿道空間と調和したみちづくりを提言します。

◆提言3 「誰もが使いやすい安全で快適なみちを」

- 段差の少ない、歩きやすい舗装、点字ブロックの設置など誰もが使いやすい安全で快適なみちづくりを望みます。
ユニバーサルデザインに配慮したみちづくりを提言します。

◆提言4 「親しまれる大手前通りへ」

- 高齢者がひと休みできるベンチを備え、水を感じることでできる小公園の設置を提言します。
- 大手前通りでの整行列やなんじゃもんじゃの開花にあわせた祭りを提言します。そして、これらのイベントの実現に向け、大手前通り沿道地区が一体となった組織づくりを提言します。
- 植樹・清掃活動を通じて愛着あるみちづくりを提言します。

◆提言5 「水辺を感じられるみちを」

- 米子橋周辺を親水性のある護岸にすることを提言します。

2 対応状況

大手前通りみちづくり委員会により提出された提言書で提言された5つの提言内容とその対応状況については、以下のとおりである。

提言1 四季を感じられ松江との縁がある街路樹を

- 全国に類のない個性ある通りにするために、松江城二ノ丸に植えてある木から採種育成した「なんじゃもんじゃ」を植えることを提言します。

(通称)なんじゃもんじゃ

ヒトツバタゴ【モクセイ科・広葉落葉樹】

5月頃に白い花を咲かせます。
愛知県、岐阜県、長崎県対馬市に自生する珍木。
松江市内では、
・松江城(二ノ丸広場周辺)ほか数カ所
・東京橋北側(中国電力島根支社前)
に植栽されています。



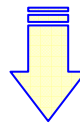
提言への対応

【対応-1】街路樹には「なんじゃもんじゃ (ヒトツバタゴ)」を考えています。

- 植栽間隔：基本的に10~15m間隔とします。
(ただし、交差点部から15m以内、家屋、店舗の出入り口付近には植栽しません。)
- 樹高：道路幅員と樹高の比率から将来的な樹高8m程度を想定しています。
(2~3m程度の若木を植樹)
- 留意点：①歩行者、信号機などの視距を確保します。
②ポケットパークから松江城の眺めを確保します。
③視距確保などによる安全・安心な通行を確保するため、適宜剪定を行います。
- その他：現在歩道に植栽されている、松やクスノキは可能な限り再利用します。

提言2 城下町松江の歴史・文化を感じられるみちを

- 沿道からは家屋の基礎や石組み水路として使われている来待石、大海崎石、島石が数多く出土しています。これらの石を有効活用することを提言します。
 - ① 花壇やベンチなどみちの素材として活用
 - ② 石組み水路の一部を保存・移設
 - ③ 松江城石垣修復工事へ活用
- 調査された沿道の歴史を紹介する案内看板を設置することを提言します。
- 沿道空間と調和したみちづくりを提言します。



提言への対応

【対応-1】 出土した来待石などを有効活用します。

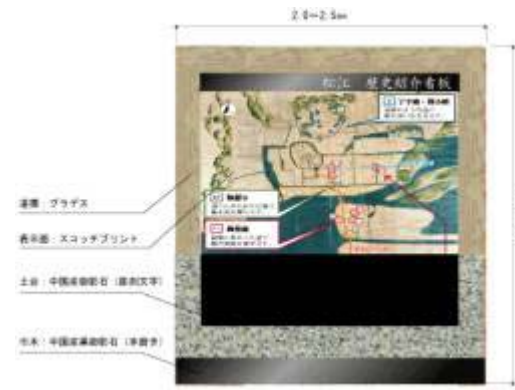
- 来待石をベンチの脚部、ツリーサークル、ポケットパークの舗装材（一部）、水路等への再利用を検討します。
- 母衣町の石組み水路について、一部・移設を検討します。
- 発生した石材は松江城石垣修復工事等への利用を検討します。

【対応-2】 ポケットパークなどに歴史案内看板を設置し、松江の歴史を紹介します。

【対応-3】 落ち着いた色調で城下町らしさを演出します。



来待石をアクセントに配したツリーサークルのイメージ




松江市の歴史景観と調和した案内看板のイメージ

提言3 誰もが使いやすい安全で快適なみちを

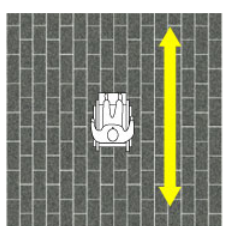
- 段差の少ない、歩きやすい舗装、点字ブロックの設置など誰もが使いやすく安全で快適なみちづくりを望みます。ユニバーサルデザインに配慮したみちづくりを提言します。

自然石(グレー)の平板の舗装

黒御影石は彩度が低く、歴史的まちなみにも調和しやすいと考えます。点字ブロック等も認識しやすくなり、安全な歩行空間を実現できます。




進行方向に平行に配置してください



車輪が目地を踏む頻度が少ないので走行・歩行しやすい。


視点場からお城への眺めをできる限り街路樹が阻害しない配慮をしてください

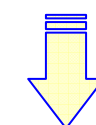
視点場からの眺め



車道から歩行者がよくみえるよう、横断歩道の近くには高木・中低木の植栽をできる限り配置しないでください。

車道からの眺め





提言への対応

【対応-1】 ユニバーサルデザインに配慮した空間を創出します。

- 舗装材はすべりにくく、割れなどに強い材質である擬石（グレー系：30cm×60cm）を用います。（擬石を用いる事によって大幅なコスト削減が図られる。）
- 舗装材の配置について、車いす・自転車通行部は進行方向に平行に、歩行者歩行部は進行方向に垂直に配置します。

【対応-2】 視線が通る道路空間を創出します。

- 視点場（ポケットパーク等）から松江城が眺められるように街路樹を配置します。
- 視距確保のため、交差点部には植栽を行いません。

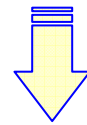
提言1参照



【歩道舗装イメージ】自転車歩行者の分離に配慮した歩道舗装

提言4 親しまれる大手前通りへ

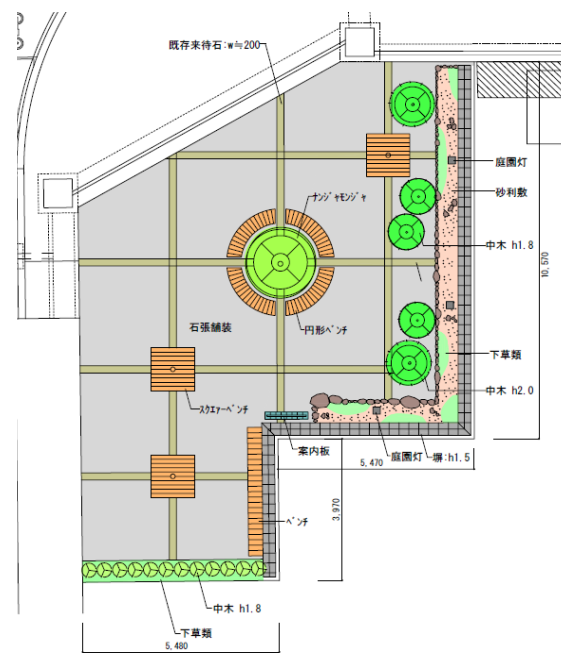
- 高齢者がひと休みできるベンチを備え、水を感じることでできる小公園の設置を提言します。
- 大手前通りでの躰行列やなんじゃもんじゃの開花にあわせた祭りを提言します。そして、それらのイベントの実現に向け、大手前通り沿道地区が一体となった組織づくりを提言します。
- 植樹・清掃活動を通じて愛着あるまちづくりを提言します。



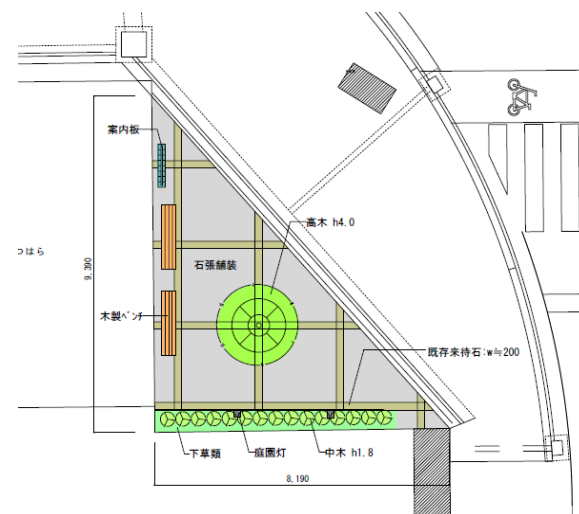
提言への対応

【対応-1】 来待石等をポケットパークや歩道に有効活用し、ひと休みしながら歩けることができる歩行空間を整備します。

■ポケットパークイメージ（母衣町）

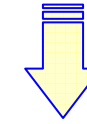


■ポケットパークイメージ（米子町南）



提言5 水辺を感じられるみちを

- 米子橋周辺を親水性のある護岸にすることを提言します。



提言への対応

【対応-1】 堀川遊覧舟からも大手前通りの風情が楽しめるよう、米子橋の高欄や桁隠しのデザインに配慮します。

■城下町らしい橋のデザイン事例




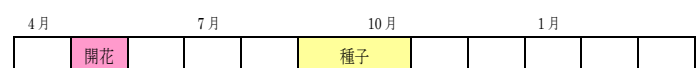
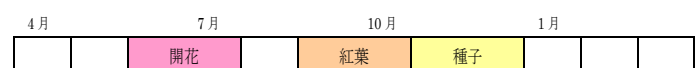
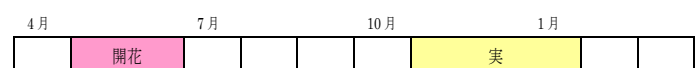




【完成予想図-1】 母衣町から松江城方面を望む(昼景)

■参考資料：景観アイテム比較表

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【街路樹】

分類	第1案：ヒトツバタゴ（なんじゃもんじゃ）案	第2案：ナンキンハゼ案	第3案：クロガネモチ案
概要	<ul style="list-style-type: none"> モクセイ科ヒトツバタゴ属 落葉広葉樹 雌雄異株 樹高：～30m 5月に白い花を多数つける。果実は長さ約1cmの楕円形で黒く熟す 日本では愛知県、岐阜県、対馬だけに自生する珍木のひとつ。環境省の絶滅危惧Ⅱ類(VU)【絶滅の危険が増大している種】に指定されている 	<ul style="list-style-type: none"> トウダイグサ科シラキ属 落葉広葉樹 雌雄同株 樹高：5～15m 6～7月に長さ6～18cmの総状花序を出し、芳香のある黄色の花をつける。蒴果は直径約1.3cmで、白いロウ質に包まれた種子からロウや油を取る 	<ul style="list-style-type: none"> モチノキ科モチノキ属 常緑広葉樹 雌雄異株 樹高：～20m 5～6月に直径約4mmの淡紫白色の花を開く。果実は直径5～8mmの球状で赤く熟す
イメージ			
松江市との縁	<ul style="list-style-type: none"> 1940年（昭和15）、松江市出身の故杉坂治さんが現在の韓国光州市で自生樹から採種して育てたなんじゃもんじゃの苗木を松江市へ寄贈 松江城（二ノ丸広場周辺ほか数カ所）、東京橋北側（中国電力島根支社前）に植樹されている 	<ul style="list-style-type: none"> 種子の脂肪の烏臼油（うきゅうゆ）は石鹼・ろうそくの原料となり、かつて松江市内でも採取されていた 堀川沿いなどに多く植樹されている 	<ul style="list-style-type: none"> 松江鹿島美保関線（松江北高校グラウンド付近）や国道485号（北公園付近）などに植樹されている
季節感	<ul style="list-style-type: none"> 5月に花が咲き、秋期には結実し、冬期には落葉するなど、季節感に富む 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期には花が咲き、秋期には紅葉し、そして冬期には種子がつくなど、3案中最も季節感に富む 	<ul style="list-style-type: none"> 春期に花が咲き、秋期から冬期にかけて結実するが、常緑樹であるため他案と比較すると季節感に劣る 
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：－（樹高3～5m程度を想定） 島根県立緑化センターの県所有木を調達するため、経済性、調達性に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：2.8万円/本（樹高4.0m、幹周21cmを想定） 建設物価では樹高4.0mのものは調達難易度が「極めて困難」となっており、樹高が1.2m未満の幼木しか入手できない可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：4.3万円/本（樹高4.0m、幹周25cmを想定） 建設物価では樹高4.0mのものは調達難易度が「困難」となっており、樹高が2.5m未満の幼木しか入手できない可能性がある
評価	<ul style="list-style-type: none"> 秋期～冬期にかけて落葉するため、清掃活動などの地元の協力が必要不可欠である 全国的にも珍しい街路樹であるため、シンボル性が極めて高い <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 秋期～冬期にかけて落葉するため、清掃活動などの地元の協力が必要不可欠である <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常緑樹であるため、維持管理性は3案中最も優れる 街路樹としてポピュラーであり、シンボル性は低い <p style="text-align: center;">△</p>

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【歩道照明灯（中ポール）】

分類	第1案：	第2案：	第3案：
概要	<ul style="list-style-type: none"> 和のイメージを演出した案 光源が高いため、防犯性に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左
イメージ図			
器具詳細	<ul style="list-style-type: none"> 器具種類：無電極放電灯（150W） 推定寿命：60,000時間 設置高さ：4.5m 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 95万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：2.4（標準品：40万円を想定） 	<ul style="list-style-type: none"> 120万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：3.0（標準品：40万円を想定） 	<ul style="list-style-type: none"> 95万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：2.4（標準品：40万円を想定）
評価	<ul style="list-style-type: none"> シンプルなデザインであるため、景観アイテムとしても有効である 惣門橋通りの照明柱のデザインコンセプトを踏襲することで、エリア一体としてのデザイン性の統一を図っている <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> シンプルなデザインであるため、景観アイテムとしても有効である 松江城周辺（北堀美術館東）の照明柱のデザインコンセプトを踏襲している <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> シンプルなデザインであるため、景観アイテムとしても有効である 大手前駐車場前（惣門橋通り側）の照明柱のデザインコンセプトを踏襲している <p style="text-align: center;">○</p>

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【ポラード】

分類	第1案：自然石案	第2案：擬石案	第3案：金属製品案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 自然石（または出土した来待石）を使用した案 	<ul style="list-style-type: none"> 擬石を使用した案 	<ul style="list-style-type: none"> 金属製品（アルミ鋳物）を使用した案
イメージ図			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 自然石独特の風合いがあり、落ち着きがある 彫り込み等の加工が容易である 自然石であるため、色の指定が困難である（バラツキも出る） 	<ul style="list-style-type: none"> 自然石と比較すると、色の選別が可能である 金属などとの複合品の製作が容易である 破損した場合でも少量の追加注文が可能である 自然石と比較すると、耐久性にやや劣る 	<ul style="list-style-type: none"> 色、形の選択範囲が広い 自然石や擬石より細かな加工が容易である 可動式や収納式などバリエーションが豊富である 破損した場合でも少量の追加注文が可能である 素材によっては、汚れやサビがでる場合がある
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：4.4万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：1.6（第2案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：2.8万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：1.0（第2案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：14万円/基（頭部デザイン含む。工事費、取付費は別途） 経済性比：5.0（第2案を基準） *本体を自然石、頭部をアルミ鋳物とした場合、9万円/基（経済性比3.2）
評価	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過とともに風合いが増すため、城下町の雰囲気演出するアイテムとしてふさわしい 歩道舗装が自然石であるため、周辺景観との調和性が高い 標準品単価の5倍以内を満足する 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道舗装が自然石であるため周辺景観との調和性にやや劣る 標準品単価の5倍以内を満足する 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道舗装が自然石であるため、周辺景観との調和性にやや劣る 加工性の高さからポラード頭部に家紋をデザインするなど、独自性の演出が容易（⇒松江城側の街区から堀尾家、京極家、松平家の家紋を配置することで、時間軸を表現） 江戸時代に県内で盛んだったたら製鉄との関連性もあり、歴史案内板のネタとしても活用できる 標準品単価の5倍以内を満足する
	◎	△	○

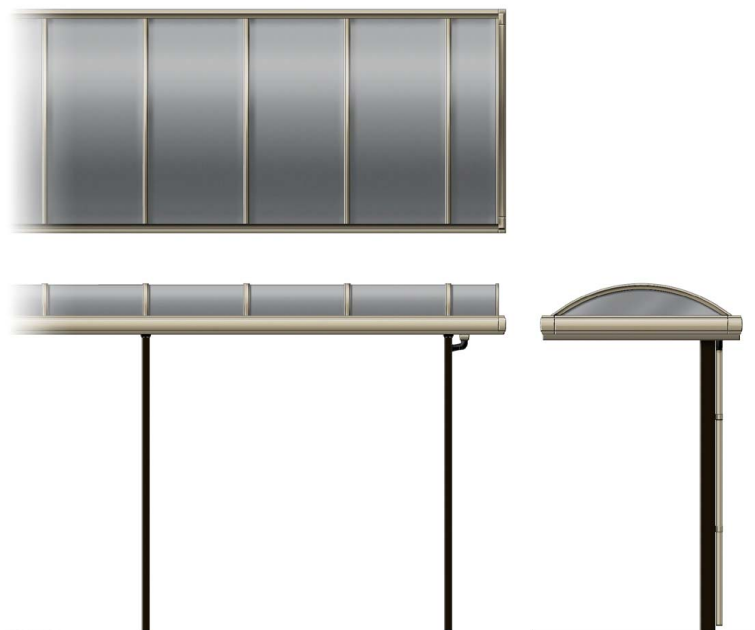


城山北公園線 道路景観アイテム比較表【植樹ます】

分類	第1案：ツリーサークル案	第2案：来待石案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 既製のツリーサークルを利用し、アクセントとして来待石をレイアウトした案 	<ul style="list-style-type: none"> 来待石をふち石に利用した案
イメージ図		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ツリーサークルの設置により、樹木の健全な育成が期待できる ツリーサークルとツリーガードが一体となっているため、樹木の転倒防止効果が高い 金属製品であるため無機質なイメージもあるが、来待石をレイアウトすることで無機質なイメージを解消している 	<ul style="list-style-type: none"> 来待石を利用することで自然な風合いが表現できる グランドカバーとして玉竜をサークル内に配置することで、より和風で自然なイメージを表現することができる
構造	<ul style="list-style-type: none"> ツリーサークルが路上施設帯の中に収まらず歩道内にはみ出すが、歩道面との平坦性が確保できるため歩行者、自転車の通行性・安全性に与える影響は軽微である 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車の通行性、安全性を勘案すると、路上施設帯内に設置する必要があり、植樹ますとしての必要幅を確保できない可能性がある 風化による来待石の劣化が懸念される
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 既製品に加工を施すため、標準品と比較するとやや割高となる 概算費用：19.1万円/基（基礎工事費、取付費は別途） 経済性比：1.1倍 	<ul style="list-style-type: none"> 出土した来待石を用いるため、材料費がかからない 経済性比：－（出土品流用のため材料費不要）
評価	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車の通行性・安全性に優れる 標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車の通行性・安全性については第1案に劣る 標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">△</p>



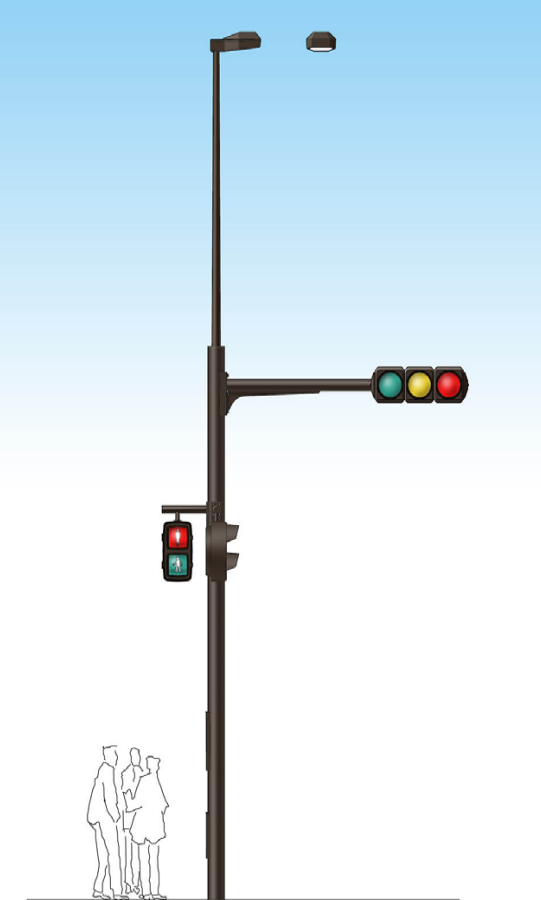
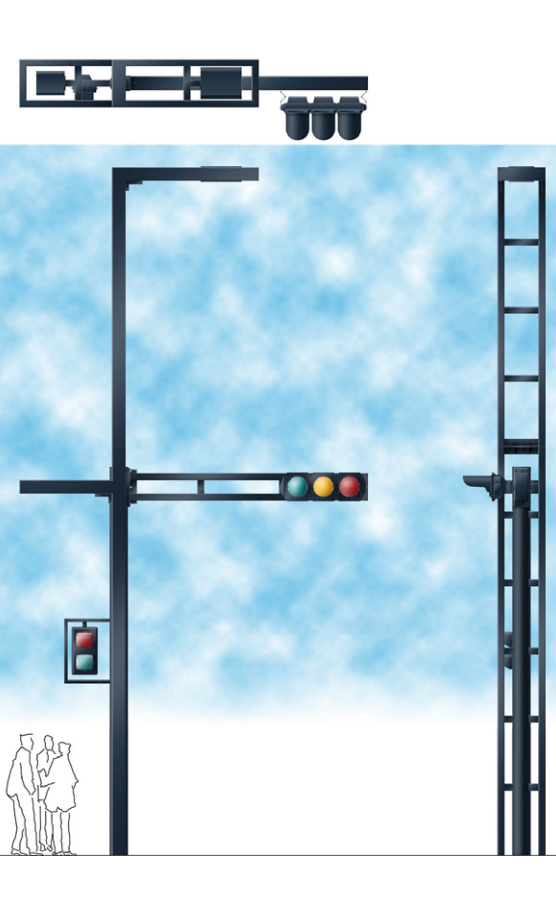
城山北公園線 道路景観アイテム比較表【歴史案内板】

分類	第1案：木製案	第2案：擬石案	第3案：自然石案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 木を使用し、和風とした案 	<ul style="list-style-type: none"> 擬石を使用した案 	<ul style="list-style-type: none"> 自然石を使用し、石碑風とした案
イメージ図			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 当該路線の周辺イメージに合わせて、和風のデザインとした案 県内産の木材（杉）が使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 汎用性が高いため、周辺のストリートファニチャー（横断防止柵、ポラード等）との景観性を統一しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 石碑タイプとすることで、シンボリックな案内板とすることが可能 当該路線の周辺イメージとの調和性にも優れる
材質	<ul style="list-style-type: none"> 本体：杉材（県内産を使用） 屋根：銅版 板面：アルミ複合板 	<ul style="list-style-type: none"> 本体：擬石 屋根：－ 板面：アルミ複合板 	<ul style="list-style-type: none"> 本体：自然石 屋根：－ 板面：アルミ複合板
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：90万円/基（基礎工事費、据付費は別途） 経済性比：1.3（第2案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：70万円/基（基礎工事費、据付費は別途） 経済性比：1.0（第2案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：110万円/基（基礎工事費、据付費は別途） 経済性比：1.6（第2案を基準）
評価	<ul style="list-style-type: none"> 塩見縄手沿線の歴史案内板とデザインコンセプトを統一することで、一体的な景観性が確保できる <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な案内板であるため、シンボル性に欠ける 当該路線の周辺イメージとの調和性に劣る <p style="text-align: center;">△</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史案内板事態のシンボル性は高いが、第1案と比較すると当該路線の周辺イメージとの調和性にやや劣る <p style="text-align: center;">○</p>

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【バスシェルター】

分類	第1案：ポリカーボネート案	第2案：間伐材利用案	第3案：アルミ樹脂+広告パネル案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に配慮してシンプルなデザインとした案 	<ul style="list-style-type: none"> 城下町の雰囲気と馴染む和風のデザインとした案 	<ul style="list-style-type: none"> モダンでシンプルなデザインとした案
イメージ図		 <p>上記写真は塩見縄手の例 H=2.6m(軒下) D=2.0m W=3.6(支柱間)</p>	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> パブリックユースにふさわしい高耐久性・高品質と高いコストパフォーマンスを両立した案 屋根部材がユニット方式であるため、施工性に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> 和風の景観に調和し落ち着いた雰囲気を演出する 間伐材の利用により環境への寄与が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> 屋根材にアルミ樹脂積層複合材（不燃材）を使用しており、すっきりとした印象を与える 広告パネルを設置することにより、コスト削減を図ることができる
仕様詳細	<ul style="list-style-type: none"> 屋根材：ポリカーボネート（片面对候性グレード） 構造材：溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装 屋根枠：アルミ押出型材 構造寸法 <ul style="list-style-type: none"> 高さ：2.6m（軒下） 奥行き：2.0m 支柱間隔：3.0m（標準部） 	<ul style="list-style-type: none"> 屋根材：銅板葺 構造材：間伐材 プレーナー仕上+木材保護塗装 防腐・防蟻剤加圧注入処理 構造寸法 <ul style="list-style-type: none"> 乗降客数などを考慮して規模、形状は検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 屋根材：アルミ樹脂積層複合材（不燃材） 構造材：溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装 屋根枠：アルミ押出型材 構造寸法 <ul style="list-style-type: none"> 高さ：2.6m（軒下） 奥行き：2.0m 支柱間隔：4.0m
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：81.9万円/スパン（27.3万円/m） ◇ 妻面パネルおよび工事費・取付費は別途 経済性比：1.0（第1案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：－ 経済性比：－ 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：168万円/スパン（42万円/m） ◇ 内照式広告パネル・背面ガラス・天井内臓照明灯および工事費・取付費は別途 経済性比：1.4（第1案を基準）
評価	<ul style="list-style-type: none"> 屋根材が不燃性ではないためやや安全性に劣る 標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的景観に調和する <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広告によっては歴史的景観を阻害する可能性がある 標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">△</p>

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【車道照明灯】

分類	第1案：角パイプ案	第2案：丸パイプ案	第3案：丸パイプポールヘッド案	第4案：角パイプデザイン案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 信号柱を角パイプで構成し、和のイメージを演出した案 	<ul style="list-style-type: none"> 信号柱を丸パイプとし、シンプルなイメージを演出した案 	<ul style="list-style-type: none"> 信号柱を丸パイプとし、さらに照明灯をポールヘッドタイプとしたシンプルなイメージを演出した案 	<ul style="list-style-type: none"> 角パイプを立体的に構成し、火の見櫓をイメージしたシンボリックな案
イメージ図				
器具詳細	<ul style="list-style-type: none"> 本体：溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装仕様 高さ：H=10.0m（灯具中心） 灯具アーム張り出し：2.0m（灯具中心） <ul style="list-style-type: none"> ◇ 信号機用アームは設置状況により仕様が異なる場合がある 	同左	<ul style="list-style-type: none"> 本体：溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装仕様 高さ：H=10.0m（灯具中心） 灯具アーム張り出し：— <ul style="list-style-type: none"> ◇ 信号機用アームは設置状況により仕様が異なる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 本体：溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装仕様 高さ：H=10.0m（灯具中心） 灯具アーム張り出し：2.0m（灯具中心） <ul style="list-style-type: none"> ◇ 信号機用アームは設置状況により仕様が異なる場合がある
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：262.5万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：1.8（第3案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：178.5万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：1.2（第3案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：147万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：1.0（第3案を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：399万円/基（工事費、取付費は別途） 経済性比：2.7（第3案を基準）
評価	<ul style="list-style-type: none"> シンプルなデザインであるが、第2案と比較すると周辺景観との調和性にやや劣る 標準品単価の5倍以内を満足する 	<ul style="list-style-type: none"> シンプルなデザインであるため周辺景観との調和性が高い 標準品単価の5倍以内を満足する 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点が大きいためポールヘッドタイプはやや不向きである（照明灯の工夫によりある程度の対応は可能） 標準品単価の5倍以内を満足する 	<ul style="list-style-type: none"> 街路のシンボルとなり得るが、他案と比較すると周辺景観との調和性にやや劣る 標準品単価の5倍以内を満足する
	○	◎	△	△

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【歩道舗装】

分類	第1案：御影石案	第2案：擬石案	第3案：来待石案
概要	<ul style="list-style-type: none"> 御影石（自然石）を使用する案 	<ul style="list-style-type: none"> 擬石（特殊インター）を使用する案 	<ul style="list-style-type: none"> 出土した来待石を使用する案
イメージ図			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 素材感に優れるため、歴史的景観の演出効果が高い パーナー、ピシャン、研磨など色々な加工が可能である 汎用性が低いため、破損した場合の補修性にやや劣る 	<ul style="list-style-type: none"> 普通インターはコンクリートを固めたものに着色しただけなので、経年変化（色落ち）が著しいが、特殊インターは天然骨材などを表面に加工しているため、経年変化が少ない 透水タイプや保水タイプなどのバリエーションが豊富である 10cm×10cm～60cm×60cm までサイズバリエーションが豊富である 	<ul style="list-style-type: none"> 吸水率が比較的高く、経年変化による剥離が起こりやすい 日陰部分にコケが生ずる場合があり、歩行者や自転車の安全性に劣る 比較的柔らかいため加工しやすいが、強度にやや劣るため車両の乗り入れに対応できない可能性がある
経済性	<p><グレー系：t=6cm></p> <ul style="list-style-type: none"> 概算費用：22,000 円/m²（工事費、取付費は別途） 経済性比：7.3（普通インターを基準とする） <p><グレー系：t=8cm></p> <ul style="list-style-type: none"> 概算費用：25,000 円/m²（工事費、取付費は別途） 経済性比：8.3（普通インターを基準とする） 	<p><特殊インターの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> 概算費用：6,000～9,000 円/m²（t=6cm、8cm：工事費、取付費は別途） 経済性比：2.0～3.0（普通インターを基準とする） <p><普通インターの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> 概算費用：3,000 円/m²（t=6cm、8cm：工事費、取付費は別途） 経済性比：1.0（普通インターを基準とする） 	<ul style="list-style-type: none"> 概算費用：出土品流用のため無料（工事費、取付費は別途） 経済性比：－（普通インターを基準とする）
評価	<ul style="list-style-type: none"> 素材感に優れるものの、車両乗り入れ部（t=8cm）について標準品単価の5倍を超過する <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特殊インターの利用により、自然石に近い風合いを演出できる 標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出土品を流用するため経済性には優れるものの、比較的柔らかいため舗装材としては利用しにくい 舗装材としての利用実績に乏しい <p style="text-align: center;">△</p>

城山北公園線 道路景観アイテム【ポケットパーク (1/2)】

母衣町 (松江 AT ビル跡地)

<p>分類</p>		
<p>イメージ図</p>		<p>■景観アイテムイメージ写真</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>塀</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>案内板</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>庭園灯</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>円形ベンチ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>スクエアベンチ</p> </div> </div>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポケットパークの中央にシンボルツリーとして「なんじゃもんじゃ (ヒツバタゴ)」を配置している ・ 舗装材は御影石を基本とし、出土した来待石をアクセントとして用いている ・ 城下町の雰囲気に合わせて和風の塀および砂利敷水路 (枯山水) をポケットパーク外周に配置している ・ イベント時に利用できるように、スクエアベンチには日除けを設置できる構造としている 	
<p>概算工事費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 780 万円 (諸経費は別途) 	
<p>留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来待石は脆いため、破損などには特に注意が必要である ・ 外周に整備している砂利敷水路はゴミなどが溜まりやすいため、定期的な清掃が必要である ・ なんじゃもんじゃ (ヒツバタゴ) は乾燥に弱いため、細根が未発達な植え付け初期については特に灌水への留意が必要である 	

城山北公園線 道路景観アイテム【ポケットパーク (2/2)】

分類	米子町南	米子町北
イメージ図		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> • ポケットパークの中央にシンボルツリーとして中木 (H=4.0m 程度) を配置している • 舗装材は御影石を基本とし、出土した来待石をアクセントとして用いている 	<ul style="list-style-type: none"> • 地形的制約条件から高木の植栽は不可能であるため、出土した来待石を用いた花壇を配置している • 舗装材は御影石としている
概算工事費	<ul style="list-style-type: none"> • 230 万円 (諸経費は別途) 	<ul style="list-style-type: none"> • 30 万円 (諸経費は別途)
留意点	<ul style="list-style-type: none"> • 来待石は脆いため、破損などには特に注意が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> • 背後に民地への出入り口が隣接しているため、植栽やベンチの配置等について地権者の了承が必要である • 来待石は脆いため、破損などには特に注意が必要である

城山北公園線 道路景観アイテム比較表【米子橋】

分類	第1案：擬宝珠を配した案	第2案：親柱配置案	第3案：擬石コンクリート案
概要	・高欄に疑木塗装を施し擬宝珠を取り付けた案	・親柱を御影石とした案	・高欄を擬石コンクリートとした案
イメージ図			
特徴	・擬宝珠を付けることで城下町らしい和風の趣を表現 ・松江城周辺の橋に倣い塗装は疑木塗装とし自然と調和するデザインとしている。	・親柱を黒御影石とすることで、城下町らしい重厚感を表現 ・デザインパネルをはめ込まず、シンプルなデザインとしている	・京橋や栄橋等の京橋川周辺のレトロモダンな趣と調和した橋に倣い、擬石の柱により近代的な趣を表現
構造	<ul style="list-style-type: none"> ・親柱 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：黒御影石（本磨き） ➢ サイズ：H1,000×1,000×300 ・高欄 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：鋼製 ➢ サイズ：H1100@2,000 ➢ 塗装色：亜鉛メッキ・疑木塗装 ・擬宝珠 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：アルミ ➢ サイズ：φ100×H190 	<ul style="list-style-type: none"> ・親柱 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：黒御影石（本磨き） ➢ サイズ：H1,000×1,000×300 ・高欄 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：ダクタイル鋳鉄・鋼材 ➢ サイズ：H1,000@2,000 ➢ 塗装色：ダークブラウン（DB49） 	<ul style="list-style-type: none"> ・親柱 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：黒御影石（本磨き） ➢ サイズ：H1,000×1,000×300 ・高欄 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 材質：擬石コンクリート ➢ サイズ：H800@2,000 ➢ 仕上げ：研磨仕上げ
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・概算費用：561万円 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 親柱：236万円（59万円/基×4） ➢ 高欄：325万円（12.5万円/m×13m×2） ・経済性比：2.4（第2案の親柱なし案*を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> ・概算費用：439万円 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 親柱：236万円（59万円/基×4） ➢ 高欄：203万円（7.8万円/m×13m×2） ・経済性比：1.9（第2案の親柱なし案*を基準） 	<ul style="list-style-type: none"> ・概算費用：389万円 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 親柱：236万円（59万円/基×4） ➢ 高欄：153万円（5.9万円/m×13m×2） ・経済性比：1.6（第2案の親柱なし案*を基準）
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標準品単価の5倍以内を満足する <p style="text-align: center;">○</p>

*「第2案の親柱なし案」の概算費用：234万円（7.8万円/m×15m×2）